

薬の伝言板

～新型コロナワクチン～



No323 2024年10月

丸子中央病院 薬局

2024年3月31日で新型コロナワクチンの全額公費による接種は終了となりました。10月からは自治体による定期接種が始まります。新型コロナワクチンの定期接種については、個人の重症化予防により重症者を減らすことを目的として実施することとなっています。

●定期接種の主な内容

<対象者>

- ・65歳以上の方
- ・60～64歳で対象となる方（心臓、腎臓、呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方やヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方）

<費用> 原則有料（自己負担額は各自治体が設定）

<スケジュール> 毎年1回（秋冬）



定期接種の対象外の方や定期接種以外のタイミングで接種する場合は、任意接種として自費でワクチンの接種を受けることができます。

●主な新型コロナワクチンの種類と効き方

病原体（ウイルスや細菌など）そのもの又は、病原体を構成する物質などをもとに作ったワクチンを接種することで、その病原体に対する免疫ができます。ワクチンには「生ワクチン」「不活化ワクチン」などがありますが、新型コロナワクチンは「mRNA ワクチン」と「組み換えタンパクワクチン」を始めとした、様々な種類が開発されています。

種類	注射するもの	効き方
mRNA ワクチン (メッセンジャーRNA)	ウイルスのタンパク質を作る遺伝情報 (mRNA) の一部	体内でウイルスのタンパク質の一部が作られ、それに対する抗体ができる
組み換えタンパクワクチン	ウイルスの表面にあるスパイクタンパク質の遺伝子をもとに作られた組み換えタンパク質	組み換えタンパク質に対する抗体ができる



*ワクチンを接種して免疫がつくまでに1～2週間程度かかります。

●新型コロナワクチンのQ&A

Q1. 新型コロナワクチンの種類（含まれる株）は毎年変わるのですか？

A. 流行している株に対応したワクチンを用いることで、より高い効果が期待されるため、当面の間は**毎年見直す**こととされています。



Q2. どんな効果が期待できますか？

A. **重症化予防効果**等があることが確認されています。



Q3. 副反応にはどのようなものがありますか？

A. 主な副反応として、**注射した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢、発熱等**が見られることがあります。こうした症状の大部分は接種後数日以内に回復しています。

*稀な頻度でアナフィラキシー症状（急性のアレルギー反応）が報告されています。

新型コロナワクチンの安全性については審議会での評価を踏まえ、特段の懸念はないものと考えられています。

Q4. 他のワクチンと同時に接種することができますか？

A. **医師が必要と認めた場合に可能**です。また、他のワクチンとの接種間隔に制限はありません。

Q5. 新型コロナウイルスに感染したことがある人は、ワクチンを接種することができますか？

A. 感染したことがある方やこれまでに接種した新型コロナワクチンの接種回数及び種類に関わらず**接種することができます**。感染後にワクチン接種するタイミングについては一律の決まりはありません。

- 理由
- ①ウイルスが一度感染しても再度感染する可能性があるため
 - ②自然に感染するよりもワクチン接種の方が血中の抗体価が高くなるため
 - ③感染した株以外の抗体が得られることがあるため

※接種を受ける努力義務や自治体からの接種勧奨の規定はありません。

※SNS やメディアでは、新型コロナワクチンに関して様々な情報が溢れています。ワクチンの安全性については、大規模な臨床試験だけでなく、接種を開始してからも様々な報告、調査、評価がされており、結果は国内外の公的機関から公表されています。



新型コロナワクチンについて相談したいことがあれば、自治体の窓口やコールセンター、身近な医療機関にご相談ください。厚生労働省もコールセンターを設置しています。